

2022 年 6 月 13 日



家庭のプラごみを本格リサイクル

～生ごみ容器を開発～

岐阜プラスチック工業株式会社（岐阜県岐阜市、大松栄太社長）は、一般ごみとして家庭から排出される玩具、文具、日用品などの使用済みプラスチック製品をリサイクルし、家庭で使用する生ごみ容器を開発しました。

福岡県大木町、九州大学、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会（会長：小梶 聡、以下プラ推進協）らが参加する福岡筑後プラスチックリサイクルループ協議会※では、大木町や周辺自治体で回収された使用済みのプラスチック製品を回収・再資源化する取り組みをスタートし、これまで大木町の各家庭へ有償配布されていたプラスチック製生ごみ容器へのリサイクルを実現しました。容リ法対象プラスチックではない、日用品などの一般廃棄物としての製品プラスチックを回収・リサイクルする試みは、全国に先駆けての取り組みとなりました。

これまで九州地区だけでは難しかったリサイクルループを、プラ推進協からの呼びかけに応える形で、中部地域のプラスチックリサイクルに多くの知見を持つ岐阜プラスチック工業と、いその株式会社（愛知県名古屋市中区、磯野正幸社長）が協力し達成しました。回収されたプラスチック製品をいその持つ粉碎・洗浄・配合技術などで生ごみ容器用のバージン材同等の性能にアップグレードし、従来から多くのリサイクル製品を手掛ける岐阜プラスチック工業の金型・成形技術により本格的なプラスチック製品へのリサイクルが実現しました。

岐阜プラスチック工業は、従来から環境負荷を低減する製品の開発に積極的に取り組んでおり、長年にわたり培ってきた再生材を活用した金型・成形ノウハウなどを活かして、製品開発に取り組みました。なお、製品化された生ごみ容器は、同社の中容器付き容器「シーレストッカーシリーズ・E-11」を参考にしております。

今後、岐阜プラスチック工業は、福岡筑後プラスチックリサイクルループ協議会の支援の基で、本年夏を目途に大木町をはじめ本協議会に参加しているみやま市などにリサイクルペールの供給を始める予定です。月間の生産量は 1000 個程度で、市民に有償供給する計画です。またリサイクル材料向けの使用済製品プラの供給は、月間の 1000 kg 程度の見通しです。

生ごみ容器の概要

保存用中容器（ペール）と保管容器（外容器・円筒容器, 把手付き）のセット

外寸 300 × 300 × 258 mm、容量 11 L、材質 PP樹脂など

重量（中容器）350 g。（本体 510 g ふた 200 g）

成形 岐阜プラスチック工業(株)

リサイクル材料について

1. 大木町等で収集した製品プラと市民搬入の製品プラからリサイクルに適する材質の製品プラを選別（YK クリーン）
2. 対象品を粉碎等の前処理後、材料の物性等を確認（いその）
3. 成形品向けの材料仕様を確認後、専用グレードにコンパウンド加工（いその）
4. 成形メーカーに納入（岐阜プラスチック工業）

※ 福岡筑後プラスチックリサイクルループ協議会

みやま市、柳川市、筑後市、大川市、大木町など4市1町、九州大学、福岡大学、北九州市立大学、福岡アジア都市研究所など4大学・研究機関、YK クリーン、いその、トータルケア・システム、F-COOP、大日本印刷、岐阜プラスチック工業など6企業、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、NPOなどが参加。

今回の取組みを推進した本協議会は福岡筑後地域のプラスチックリサイクルループづくりを目指しており、2021年度 環境省 地域循環共生圏プラットフォーム構築支援事業に採択されています。

お問い合わせ先：

●岐阜プラスチック工業（株）

サステナブル戦略室 室長 酒井 058-386-9320 <https://www.risu.co.jp/>

●いその（株）

営業本部 本部長 高野 0587-32-8181 <http://www.isono21.co.jp/>

●プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

事務局 専務理事 久保 03-3501-5893 <https://www.pprc.gr.jp/>

●福岡筑後プラスチックリサイクルループ協議会

九州大学大学院 芸術工学研究院 教授 近藤 080 - 4317-1092